シニア世代で増加する「前立腺がん」 人間ドッグや健康診断による早期発見が重要。

シニア世代必読

前立腺 シリーズNO.1

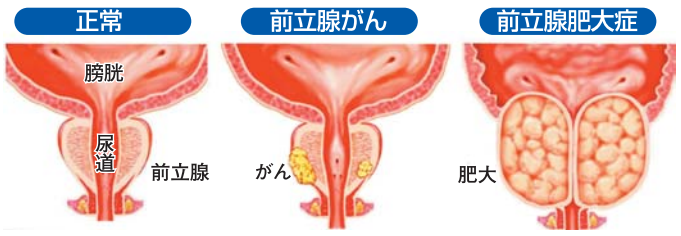
前立腺がん

前立腺検診で早期発見

日本泌尿器科学会認定・泌尿器科専門医
かねとう腎泌尿器科クリニック
院長 **金藤博行**先生

シニア世代になると夜間トイレに起きる、排尿に時間がかかる、会議中尿の我慢が辛いなど、排尿症状が気になりませんか。これらの症状は前立腺疾患が原因のことがあります。このシリーズでは近年急増している前立腺がん、男性の宿命とも言える前立腺肥大症について最新の情報を含めて診断、治療について説明して参ります。

図1



前立腺は膀胱の下にあるクルミ大の臓器で、膀胱からすぐ下の尿道を取り囲んでいます。前立腺は腺組織から成り、ここから分泌される前立腺液は精液の一部になります。前立腺がんの多くは、この腺組織の部分（外腺）に発生します。一方、尿道の粘膜直下には尿道周囲腺があり、この部分（内腺）が増殖して大きくなったものが前立腺肥大症です（図1）。前立腺肥大症ががん化して前立腺がんになることはありませんが、肥大症とがんが共存していることはよくあります。

最近、マスコミなどで前立腺がんが話題になることが多くなっていますが、実際に前立腺がんは増えており、シニア世代には深刻な問題となっています。前立腺がんは40歳代から現れ、年齢とともに急増する高齢者のがんと言われていますが、最近では50歳代でがんが見つかることが多くなっています（図2）。欧米では男性のがんは前立腺がんが多く、米国では罹患率が1位、死亡率は肺がんに続いて2位となっています。日本でも生活の欧米化、高齢化に伴い、罹患率、死亡率が増加することが予測されています（図3）。

図2 前立腺がんの年齢階級別罹患率（1996）

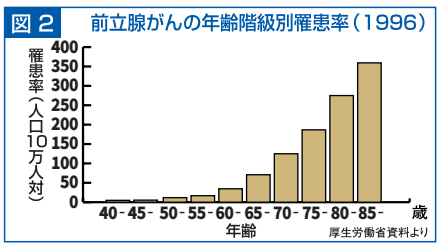
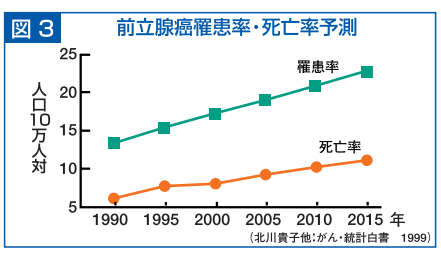


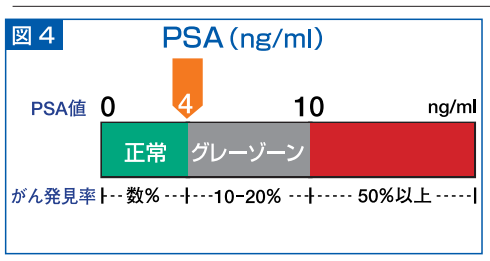
図3 前立腺癌罹患率・死亡率予測



今のところ前立腺がんを予防する効果的な方法はありませんので、前立腺がんから身を守るには早期発見、早期治療することが大切です。初期では前立腺がん特有の症状はなく、この年代では前立腺肥大症をもっている場合が多いので、肥大症による排尿症状しか感じないことが多いようです。人間ドックや健診を契機に前立腺がんが見つかった患者さんは、排尿症状で泌尿器科を受診してがんが発見された患者さんに比べ、早期の内に見つかる率が高いことが分かっています。従って、前立腺がんの早期発見には検診を受けることがとても有効です。

宮城県内では、名取市で宮城県立がんセンターが中心となって、55歳以上を対象に前立腺がんの集団検診を行っています。平成6年から8年間の受診者2299人の内50人（2.2％）に前立腺がんが発見されています。これは、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診によるがん発見率の約10倍と非常に高率です。現在、他の市町村でも集団検診が始まっていますので、対象の方は検診を受けることをお勧めします。

図4



前立腺がん検診では血液検査によるPSA検査が有効です。PSA（ピーエスエー、前立腺特異抗原の略称）は、前立腺で作られる蛋白質で血液中には微量にしか存在しません。前立腺でしか作られないので、PSA高値は前立腺に何らかの異常があることを示します。前立腺肥大症や前立腺炎などでも上昇しますが、特にがんの場合に高値となるので精度の高い腫瘍マーカーとして世界的に用いられています。正常値は4.0ng／ml（ナノグラム／10億分の1グラム）以下です。4.1ng／ml以上は異常値ですが、4.1—10ng／mlの範囲では前立腺がん発見率が低いのでグレーゾーン（灰色）と呼んでいます。4.0以下の正常域でも数%にがんが見つかりますが、PSA値の上昇に伴ってがん発見率が増加し、10以上になると高率で発見されます（図4）。一般的には、グレーゾーンで発見される場合は早期がんであることが多く、治療によって根治することが出来ます。PSAの異常は直ちにがんを意味するものではありませんが、泌尿器科専門医での精密検査が必要です。また、最初は正常値であっても、毎年検査を受けてPSA値の上昇がないかどうかを確認することも大切ですし、変化があれば必ず専門医に診てもらって下さい。

PSA検査は精度が高く、前立腺がんの早期発見に非常に役立っています。血液を1ccほど採血するだけですので、人間ドック、健康診断の際にオプションで追加したり、かかりつけ医で採血してもらうと良いでしょう。

次回のシリーズでは前立腺がんの診断について説明致します。

【まとめ】

- **初期では前立腺がん特有の症状はない**
- **前立腺がんの早期発見にはPSA検査が有効**
- **PSAが4を越えたら専門医を受診**

当院では前立腺検診（PSA検査、超音波検査）を随時行っています（予約制）。また、宮城県成人病予防協会中央診療所のAER健診ルーム（AER12階）と連携していますので、健診ルームで人間ドックを受ける際に当院で前立腺ドックを受けることも出来ます（予約制）。

かねとう腎泌尿器科クリニック（アエル10階）では泌尿器科全般の診療を行っていますが、特に前立腺疾患に力を入れています。

診療／火曜から土曜の午前・午後。休診・白・月・祝日

問い合わせは
かねとう腎泌尿器科クリニック
仙台市青葉区中央1-3-1（アエル10F）
☎022・216・7111
e-mail: info@knuc.jp
URL http://www.knuc.jp